

2010 年度春期 数学科教育法 III 板書の練習 (6/9 配布)

(1) 次の文字を書いてみよ。

- (a) 数字 (0~9)・英大文字 (A~Z)・英小文字 (a~z)
- (b) (おまけ) ギリシャ文字の大文字・小文字

$$\begin{array}{cccccccccc}
 \alpha & \beta & \gamma & \delta & \varepsilon & \zeta & \eta & \theta & \iota & \kappa & \lambda & \mu \\
 A & B & \Gamma & \Delta & E & Z & Y & \Theta & I & K & \Lambda & M \\
 \nu & \xi & o & \pi & \rho & \sigma & \tau & v & \varphi & \chi & \psi & \omega \\
 N & \Xi & O & \Pi & P & \Sigma & T & \Upsilon & \Phi & X & \Psi & \Omega
 \end{array}$$

(2) 次の空間図形を描いてみよ。大きく描くこと。

- (a) 交わる 2 平面
- (b) 平面 π 上に直線 ℓ があり、 π 上にない点 P から π に下ろした垂線の足 H が ℓ 上にないとする。 P から ℓ に下ろした垂線の足を Q とするとき、 $\ell \perp QH$
- (c) xyz -座標系内で座標軸上の 3 点 $A(a, 0, 0), B(0, b, 0), C(0, 0, c)$ を通る平面に原点から垂線を下ろす
- (d) 正四面体に 4 本の辺の中点で平面が交わっている
- (e) 立方体に 6 本の辺の中点で平面が交わっている
- (f) 正多面体 5 種
- (g) 球面
- (h) 球面と交わる平面
- (i) 交わる 2 球面

(3) 次の例を書いてみよ。但し必要に応じて適当に変えたり補ったりせよ。

漸化式
$$\begin{cases} a_{n+1} = \frac{5a_n + 2}{a_n + 4} \\ a_0 = 1 \end{cases}$$
 を解け。

$$b_n = \frac{a_n + 1}{a_n - 2} \text{ とおくと、 } a_n = \frac{2b_n + 1}{b_n - 1}$$

$$\begin{aligned}
 \therefore b_{n+1} &= \frac{a_{n+1} + 1}{a_{n+1} - 2} \\
 &= \frac{\frac{5a_n + 2}{a_n + 4} + 1}{\frac{5a_n + 2}{a_n + 4} - 2} \\
 &= \frac{(5a_n + 2) + (a_n + 4)}{(5a_n + 2) - 2(a_n + 4)} \\
 &\quad (\text{中略}) \\
 &= 2b_n
 \end{aligned}$$

$$b_0 = -2 \text{ だから } b_n = -2 \cdot 2^n = -2^{n+1}$$

$$\therefore a_n = \frac{2 \cdot (-2^{n+1}) + 1}{-2^{n+1} - 1} = \frac{2^{n+2} - 1}{2^{n+1} + 1} \quad \square$$

• 6/16 授業時に実際に板書してみましょう。